

調査研究活動実績

氏名 依光晃一郎

今年度は、国際交流、学校教育、観光、子供の支援、公共施設に関する計画策定の分野など、幅広い分野について調査を行いました。特に、歴史観光、伝統産業の振興に関しては、特に重点的に調査を行いました。

本年度（平成 28 年度）の政務調査研究に関する主な活動実績は次の通りです。

1、国際交流と南米県人会について

- ・国際交流の意義という視点
- ・海外技術研修員受入事業という視点
- ・「Visit Kochi Japan」の HP のスペイン語、ポルトガル語対応という視点
- ・海外よさこいファンに対応したよさこい HP の設置という視点
- ・南米 3 国へのよさこいに関する支援体制という視点
- ・ジャパンハウスの活用という視点
- ・県人会の実態把握と県人データベースという視点

2、学校教育について

- ・キャリア教育に関する学校の予算という視点
- ・キャリア教育に関する教員評価という視点
- ・キャリア教育のための外部コーディネーター配置という視点
- ・高知県における ICT 技術の授業への活用という視点

3、物部川流域 3 市の観光について

- ・株式会社ものべみらいへの期待という視点
- ・ピースフルセレネの改装という視点
- ・龍河洞の再生に向けたプロジェクトという視点
- ・都市計画の新たな方針という視点

4、子どもの支援について

- ・児童虐待案件に対する県の対応という視点
- ・児童虐待案件に対する県警の対応という視点
- ・児童相談所の弁護士による相談体制という視点
- ・発達障害に関するサポート体制の抜本的な見直しという視点

5、公共施設の管理計画について

- ・高知県の公共施設等総合管理計画策定の進捗状況という視点
- ・市町村の公共施設等総合管理計画の策定状況という視点
- ・市町村の公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の公表という視点
- ・類似公共施設の坪単価及びメンテナンス費用の公表一覧システムという視点
- ・建築発注業務に関する市町村支援概算見積りの誤りという視点
- ・公共インフラのメンテナンスに関する市町村支援という視点
- ・指定管理者を募集する施設の設備更新を含めた事業提案という視点
- ・余裕教室の民間企業の利用という視点
- ・総合型地域スポーツクラブへの地域活性化に対する期待という視点
- ・公立学校の廃校発生数という視点
- ・使用目的を失った公共施設の有効活用という視点